

下 巻 目 次

章 8	アーチと骨組	
8. 1	序 論	305
8. 2	対称二ヒンジ・アーチ	307
8. 3	対称ヒンジレス・アーチ	313
8. 4	過剰要素の数値計算	323
8. 5	アーチの中心線としての連力曲線	329
8. 6	非対称アーチ	342
8. 7	ヒンジレス骨組	351
8. 8	ヒンジづき骨組	359
8. 9	温度変化と支点沈下の影響	363
8. 10	輪	367
章 9	連続梁と骨組	
9. 1	撓角方程式	372
9. 2	固定端のある梁	378
9. 3	連 続 梁	382
9. 4	変横断面の梁	390
9. 5	変横断面の連続梁	400
9. 6	角柱部材からなる単純骨組	409
9. 7	角柱部材をもった連続骨組	419
9. 8	モーメント分配法	428
9. 9	建物骨組の解析	436
9. 10	非角柱部材をもった骨組	441
章 10	構造解析にマトリックス法	
10. 1	応力法と変形法	447
10. 2	マトリックス代数要論	450
10. 3	平面トラスへマトリックス法の応用	458
10. 4	連続梁のマトリックス解析	467
10. 5	アーチおよび骨組のマトリックス処理	476
10. 6	連続骨組のマトリックス解析	483
章 11	つり橋	489
11. 1	放物形連力曲線	489
11. 2	補剛されないつり橋の撓み	492
11. 3	補剛つり橋の基礎方程式	499

11. 4	補剛トラスの解析	504
11. 5	撓みの計算に三角級数の使用	509
11. 6	単純支持補剛トラスをもった三スパン橋	512
11. 7	連続補剛トラスをもつ三スパン橋	514
11. 8	変横断面の補剛トラス	522

章 12 構造動力学 527

12. 1	自由振動：一自由度	527
12. 2	Rayleigh の方法	533
12. 3	強制振動：定常状態	539
12. 4	一般的なかく乱力の場合	545
12. 5	数値積分	552
12. 6	図式積分	557
12. 7	レール内の静応力と動応力	564
12. 8	角柱梁の横振動	570
12. 9	橋の振動	576
12. 10	地震による構造物	579

人名索引.....

事項索引.....

上巻目次

章 1	平面静力学要論
章 2	静定平面トラス
章 3	影響線
章 4	静定空間構造物
章 5	弾性系に関する一般理論
章 6	ピン継手トラスの撓み
章 7	不静定ピン継手トラス